

平成23年7月29日

プレスリリース

担当課 畜産課
直通番号 095-895-2953
担当者 大曲、安松、富永

東北・関東地域からの稲わら等の流通・使用等に関する調査結果について

3月11日の東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の発生以降に収集された高濃度の放射性セシウムを含む稲わらが流通し、複数県で当該稲わらが牛に与えられていたことに関連して、本県では県内の稲わらを取り扱う関係団体及び飼料販売業者および肉用肥育牛飼養農家と酪農家に対して稲わらの取扱い・利用の実態について調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1. 調査内容

東北・関東地域（青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、山梨県、長野県）の各都県で原発事故以降に収集された稲わらの取扱い及び飼料用または敷料用としての利用の有無について

2. 調査方法

調査の対象	調査数	調査時期	調査方法
① 県内で稲わらを取り扱う 関係団体及び飼料会社	37業者	7月19日～21日	電話による聞き取り
② 県内肥育牛飼養農家 県内酪農家 合計	362戸 189戸 551戸	7月21日～28日	調査票によるFax等での回答

3. 調査結果

- ① 1. に該当する稲わらの取扱い実績は無かった。
- ② 1. に該当する稲わらの利用は無かった。